市議会だより

みやまんギカイ

No.79　令和8（2026）年11月1日発行　令和8年8月臨時会・9月定例会の内容などをお伝えします。



CONTENTS

P2～3	9月定例会の概要等
P4～5	決算審査特別委員会報告
P6	8月臨時会の概要等
P7～10	一般質問
P11～12	委員会の報告など
P13	表紙のひとなど
P14	聞かせて!あなたの夢

こんなことが決まりました

―― 定例第3回市議会で決まったことから主なものをとりあげます。 ――

定例第3回市議会

会期　9月1日～9月18日(18日間)

定例第3回市議会では、令和8年度一般会計補正予算など議案7件、令和7年度一般会計歳入歳出決算など認定7件、報告2件を審議し、全て可決、認定しました。
また、有明生活環境施設組合の議会議員補欠選挙を行いました。

詳しくはこちら↓

◆令和8年度　補正予算◆

一般会計

5億7817万6千円を追加し
総額 238億2069万5千円

一般会計補正予算の財源	
○国庫支出金	5201万5千円
○県支出金	7万6千円
○繰越金	4億2188万5千円
○諸収入	1420万円
○市債	9000万円

特別会計

介護保険事業
8310万8千円を追加し
総額 52億9331万4千円

一般会計補正予算 歳出の主なもの

財政調整基金積立金　4億円

財政調整基金条例に基づき、財政調整基金（市の貯金）に追加で積立てするものです。
※財政調整基金…将来にわたる市財政の健全な運営のため積み立ておく資金

統合中学校建設付帯工事費　5400万円

みやま中学校のグラウンド南側用地の造成及び工事車両進入路整備等の工事を行うものです。

旧山川東部分団格納庫等解体工事費　1300万円

消防団山川東部分団格納庫の新築により使用用途がなくなった旧山川東部第一・第二分団格納庫の解体・撤去工事を行うものです。

物価高騰におけるみやま市支援策

防犯灯申請補助金　450万円

自治会等が管理している防犯灯において、LED化を行ったが電力会社へのワット数区分変更をしていない自治会等が多数あるため、電力区分変更申請料に対して補助を行い、自治体等の負担軽減を図るものです。

公共土木施設補助災害復旧事業費　6500万円

大雨により被災した公共土木施設（道路）の復旧工事における工法の変更による不足分を追加補正するものです。（国3分の2補助）

道路2箇所　（高田町原、山川町甲田）

熊本地震義援金　500万円

令和8年熊本地震における被災地の早期復興を支援するため、義援金を送るものです。

工事請負契約の締結

下庄雨水ポンプ場機械設備改修工事について、一般競争入札が行われ、次の内容で工事請負契約が締結される事が全会一致で可決されました。

（工　事　名）下庄雨水ポンプ場機械設備改修工事
（契 約 金 額）3億7965万7千円
（契約締結先）協和機電工業株式会社　福岡支店

条例制定の主なもの

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

正規の勤務時間として、午後10時から午前5時までの間に勤務する事を命ぜられたパートタイム会計年度任用職員には、その間に勤務した全時間に対して報酬が支給されるものと改正されました。

みやま市霊柩自動車使用条例を廃止する条例の制定

霊柩自動車運行事業における使用件数の低迷に加え、車両の老朽化及び運転手確保が困難であるため、条例を廃止するものです。

一部事務組合議員選出

議員の辞職に伴う補欠選挙により、有明生活環境施設組合議会議員に奥薗 由美子議員、前原 武美議員を選出しました。

一部事務組合…複数の市町村等の地方公共団体が、事務や行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織です。
その議決機関として議会が置かれます。

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。

令和7年度決算をチェック

税金の使い道を確認しました

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会に付託された案件は、令和7年度一般会計決算・各特別会計決算・水道事業剰余金の処分及び決算・下水道事業決算の全7件です。

9月1日・2日・8日・17日に12名の議員で構成する決算審査特別委員会と、11日・14日・15日には各常任委員会で構成する分科会を開催しました。

予算の執行状況や行政効果など、当該年度限りではなく将来の展望に立った総合的な審査を行いました。

令和7年度　一般会計　決算状況

歳入決算額	238億268万6千円（前年比7.5％増）
歳出決算額	229億9千253万6千円（前年比7.1％増）
翌年度繰越財源	2千564万円
実質収支額	7億8千451万円（前年比24.2％増）

令和7年度　各会計決算状況

		歳　入（収入）	歳　出（支出）	収支の差額
特別会計	国民健康保険事業	52億4905万円	51億2081万円	1億2824万円
	後期高齢者医療	8億3549万円	8億3113万円	436万円
	介護保険事業 ・介護保険事業勘定 ・介護サービス事業勘定	 51億7214万円 2652万円	 49億2574万円 1802万円	 2億4640万円 850万円
	用地	8万円	0円	8万円
	合　計	112億8331万円	108億9570万円	3億8760万円
一般会計及び特別会計　合　計		350億8600万円	338億8824万円	※11億7211万円
水道事業会計	・収益的収支 ・資本的収支	5億2260万円 1億8999万円	4億8856万円 3億9758万円	3404万円 △ 2億758万円
下水道事業会計	・収益的収支 ・資本的収支	7億2819万円 5億21万円	7億437万円 6億7145万円	2381万円 △1億7123万円

※は翌年度繰越財源を差し引いています。また全体として千円以下切り捨てで計算しているため合計の金額は一致しない所もあります。

議会からの指摘事項

全体的事項

●決算における不用額の状況並びに監査委員の意見及び決算審査特別委員会の指摘事項を踏まえ、適正な予算編成に努め、歳出の積算を厳格に行い、予算の執行に当たっては、引き続き最小の経費で最大の効果が得られるよう努力すること

●予算減額が見込まれる事業は早めに減額補正をして住民サービスに努めること

●公共施設の運営については、指定管理者制度の導入を図るなど、施設の効果的な活用と経費節減に努めること



清水山荘

一般会計

◆歳入について

●税の徴収については、今後も不公平が生じないよう積極的な取り組みを続けること

◆歳出について

【企画】

●公共交通対策については、市民の負託に応えるべく、効率的・効果的な改善を図り、利便性の向上に努めること。路線が減少したコミュニティバスについては、市民の意見を聞きながら、事業を進めること



コミュニティバス「くすっぴー号」

●移住定住施策については一定の効果が見られるが、広く制度の周知を図るため、更なる情報発信に努めること

●シティプロモーション事業に関しては所管を超えて横断的に連携し、情報発信を積極的に取り組むこと

●ワンヘルス事業についてはその内容を十分に精査した上で事業を整理すること

【保健・福祉】

●社会福祉協議会への補助金については、別の委託事業等との重複支払いがないか精査すること

【建設・都市計画】

●狭あい道路の整備については、必要性を精査した事業内容とすること

●交通安全施設に関しては、要望内容等を精査し、危険度を考慮した事業計画を立てること

【教育】

●市内パトロール業務委託料については、登下校時の巡回実施日を増やすなど、児童・生徒の安全の確保に努めること

●要保護準要保護児童費については、修学旅行費用に諸経費も加えるなど、児童・生徒が学校行事に参加しやすくなるよう保護者の負担軽減に努めること

特別会計

【介護保険事業】

●生活支援体制整備事業については、高齢者世帯が増加する中、買い物支援の定着化など地域課題の更なる解決に取り組むこと

以上、決算審査特別委員会として、令和7年度一般会計決算・各特別会計決算・水道事業剰余金の処分及び決算・下水道事業決算の7件はいずれも原案可決及び認定すべきものと決定しました。

工事請負契約の締結を可決

―― 8月の臨時会で決まったことから主なものをとりあげます。 ――

臨時第2回市議会

会期　8月7日（1日間）

詳しくはこちら↓

臨時第2回市議会では、市有地である堀池園団地跡地の売却、農業用施設災害復旧事業、令和8年度一般会計補正予算などの議案3件、承認1件、発議1件を審議し、全て可決、承認しました。

令和8年度の一般会計は、2億7965万5千円を追加し、総額232億4251万9千円となります。

一般会計補正予算 歳出の主なもの

施設災害復旧事業　1億5400万円

令和8年6月からの大雨により被災した水路・農道・ため池及び公共土木施設の復旧に伴う機械借上料および工事費等を追加補正するものです。

農業用施設補助災害復旧事業費	8050万円
公共土木施設災害復旧事業費	7200万円
災害廃棄物収集・処分委託料	150万円

工事請負契約の締結を可決

みやま市清掃センター焼却場跡地に建設予定の新ストックヤード施設について、一般競争入札が行なわれた結果、次の通り工事請負契約を締結するものです。

（工事名）新ストックヤード設置工事
（契約金額）1億7829万1千円
（契約先）株式会社　河建

財産の処分を可決

市が所有する堀池園団地跡地を、ヤマエグループホールディングス株式会社に事業用地として売却するものです。

（売却額）6464万8千円

発議

福岡県の海外旅費等支給の全容解明及びワンヘルス政策の検証を求める意見書　※詳しくは12ページ

全会一致で採択（県へ意見書提出）

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。

ここが聞きたい！ 一般質問

一般質問って・・・？

市議会議員が市に対し、市政についての疑問点を質問し答弁を求め、政策的提言等を行うものです。





文化・芸術の情報発信について

答弁／魅力あるシティプロモーションを発信する



黒田清隆 議員

問 みやま市の知名度は決して高いとは言えない。みやま市には文化・芸術など市内外に発信できる地域資源がある。みやま市制20周年記念事業「マハラジャナイトinみやまっくす2026」「長唄フェス」事業の目的・成果。また、今後の情報発信は。

答 今年度の教育方針の重点において、文化・芸術の振興を掲げている。「郷土への誇りと豊かな心の醸成」を目指す。「マハラジャナイト」は、アクティブシニアの創出と多世代交流の場を提供する。前回より参加者が増加し、多くのメディアが取り上げた。「長唄フェス」は、本市出身で長唄三味線奏者の人間国宝　故・杵屋勝国師の功績を周知し伝統文化の継承を目的とする。チラシやポスター、広報紙への掲載、FMたんと、SNSを活用し、多くの方に情報が届くよう努める。

問 「文化・芸術のまち みやま」を市のシティプロモーションの一つとして発信しては。文化・芸術を「みやまを知ってもらう入口」として活用し、交流人口、関係人口の創出へ発展させては。

答 本市の魅力を発信することは、本市の認知度向上や来訪に繋がる。みやま市を知り、行ってみたいと思うシティプロモーションに取り組む。



市制施行20周年記念事業

市長のまちづくりについて
答弁／持続可能な施策の展開につとめる



河野一仁 議員

問 昨年に比べ大幅安となる見込みの本年の米の価格や、経営所得安定対策金の見直し、物価高騰など生産者の所得減少が心配される中、土地利用型農業の取り組みは。

答 農業者の高齢化や担い手不足に対応し、生産性の向上が重要と考えており、国・県の補助事業等を活用しながら機械化支援、農地の大区画化等を一体的に進め、作業の省力化・効率化と生産コストの削減を図れる取り組みを進めていく。

問 公共施設における類似施設の重複や利用実態に応じての今後のありかたについて伺う。

答 施設の老朽化、利用実態や類似機能との重複など精査・分析した上で、施設の統合・再編・廃止も含めた幅広い選択肢を視野に入れながら、市民サービスの維持向上と財政の健全化の両立を図る方向で検討を進めていく。

問 今後も上昇していくであろう高齢化率への対応は。

答 地域包括支援センターを中心とした総合相談体制を整備し、関係機関との連携を図りながら、見守り活動の充実に取り組んでいる。また、買い物困難者への対応として、配食サービスや生活援助訪問サービスなどを展開し、「くらしのお助け便利帳」を活用しながら生活支援の充実に向けて今後も施策の展開に努める。



収穫を待つみやま米

学童「育休中なら退所」か
答弁／来年度からの運用を目指す



中尾眞智子 議員

問 子ども家庭庁は、職場復帰が前提の育休は「労働等」に含まれ、学童の利用は可能との見解を周知してこなかった。そこで多くの自治体が、育休中は退所という運用をしてきた。みやま市の今後の対応は。

答 本市も「育休中は退所」としてきたが、国の見解を踏まえ、育休中の退所については、見直す。遅くとも来年度からの運用を目指す。

問 国の通達では「一律退所は見直すべき」という。来年度の運用開始までには、冬休みや春休みという長期休暇がある。現在、在籍している児童のみ、継続を認めるなどの激変緩和措置を講ずるべきではないか。

答 育休中の退所の負担感は理解するが、受け入れ側の職員の体制が整わない。

問 国が今回通達した背景には、少子化対策・多子世帯への支援を地域ごとに底上げしたいという狙いがある。支援の隙間をなくし、経済的・環境的支援を充実させ、保護者と児童の「今日からの安心と幸せ」を守る責任を果たすべきではないか。

答 子育て支援施策は重要だ。育休中の学童利用は遅くとも来年度からの運用を目指し、支援する。



安心して過ごせる学童保育所

ワンヘルス事業の今後は
答弁／見直しを含め慎重に検討する



森　弘子 議員

問　これからのワンヘルス事業について。

答　来年度の共用開始に向け整備工事が進められており、工事中止の予定は聞き及んでいない。

問　経済効果は。

答　建設工事を落札された市内の事業者がおられ、県職員の勤務地になることによる消費活動、小中学校の教育旅行など本市への人流の増加による経済効果が期待される。

問　これからのワンヘルス教育をどう考えるか。

答　教育委員会としては、本市の豊かな自然環境をはじめ、新たに移転される福岡県の保健環境研究所、動物保健衛生所などについては、今後も生かしていきたい教育資源であると考えている。ワンヘルスという言葉が、疑念を生じさせている状況があるが、県の動向も注視しながら、適切に対応する。

問　今年10月で終わる松嶋市政のワンヘルス事業について、私たち議会は、ワンヘルス事業にみやま市の将来をたくして無償譲渡を可決した。知事の「新たな事業の凍結」という表明があり、最初に交わした協定書と変わりがあるようなら、無償譲渡した使われない土地の一部は、県に購入するよう交渉をしてほしい。

答　県との協定内容に変更があるようなら、市民の意見を聞いて県と連携して進めていく。



ワンヘルスセンターの完成予想図

指定管理者制度の拡充について
答弁／まちづくりには重要である



前原武美 議員

問　みやま市では、道の駅「みやま」を指定管理者制度活用にて県下でも上位として人流交流の場として活性化まちづくりに大きな成果を成している。他にも市民、企業の活力共助を活かし「指定管理者制度」に積極的拡充を図られては。

答　民間企業の活力と市民の共助を活かしたまちづくりは大変重要である。

問　そのひとつとして、清水山を中心に展開している清水山荘と九州オルレみやま清水コースを市直営では無く、これを一体として民間ノウハウ・ネットワークを活かした指定管理者運営とし、更なる活性化を図りまちづくりを進めてはどうか。

答　清水山荘と九州オルレを一体とした検討を行う。

問　放課後児童クラブにおいては、市内7クラブで家庭に代わり生活の場を提供し、健全な育成を展開している。しかし、今日適切な運営を含め直営ではなく指定管理者へ移行しているが。

答　放課後児童クラブが指定管理者適用できるとは分からなかった。

問　この指定管理者制度導入による民間ノウハウを公共サービスへと従来の行政にはないサービス向上が出来るメリットがあるが。

答　今後先進地含め調査研究し、検討して行く。



「清水山荘」「学童保育」を指定管理者制度へ

高齢者世帯エアコン設置助成の今後は

答弁／事業の周知を図る



奥薗由美子 議員

問 エアコンのない住宅に住む高齢者世帯に、エアコンの購入や設置に係る費用を上限10万円まで助成する「高齢者世帯エアコン設置助成事業」が7月から始まったが、現状は。

答 8月末時点で、認定申請の受付は11件。そのうち9件を認定。既に設置が完了し、助成金を交付した件数は5件で、交付済み額は45万7600円。このうち2件が受領委任払によるもの。受領委任払は、申請者が代金を支払う前に事業者がエアコンを設置し、後日、本市が事業者へ直接支払う方式。

問 助成事業の今後について。追加の情報発信が必要では。

答 認定申請の期限が本年12月28日となっており、期限に間に合うように今後も事業の周知を図っていく。

問 次年度も熱中症対策として、ぜひ事業実施を。その際、条件緩和や手続きの簡素化を検討すべきでは。

答 本市の財政状況を踏まえながら、事業継続が可能か研究する。今後も、高齢者が猛暑や酷暑を安全に過ごすためにはどのような支援が適切かを考え、高齢者福祉の推進に向けて、真摯に取り組んでいく。



認定申請の期限は12月28日

相談や要望に対する行政の対応は

答弁／各課の判断において丁寧に対応している



三小田智裕 議員

問 地域住民からの相談や要望は多岐にわたるものと思われるが、市全体での相談件数や内容を把握し共有する仕組みはあるのか。

答 市全体での件数や内容を把握することは困難であり、その仕組みもない。

問 各行政区に対し「土木調査協議書の整理」という文書が配布されているが、どのような目的での配布なのか。

答 各種工事など要望の未施工箇所について各行政区単位での再確認及び優先度の精査が目的である。

問 未施工箇所はどれくらいの件数なのか、いつまでに整理する予定なのか。

答 約2800箇所となっている。来年9月までを目途に整理する予定である。

問 現在渇水の状況であり、農業生産者の方々から渇水対策に関する補助の要望もあり、検討すべきでは。

答 今後の状況を注視しながら関係部署と協議し検討したい。

問 窓口相談について、今後どのように改善する計画なのか。

答 窓口DXシステムを導入し、市民の利便性を向上させている。

問 手続き以外の相談についてはどう改善していくか。

答 必要に応じて複数課で対応しており、今後は連携をさらに強化していく。



改修を要望するも長年未着工の現場

文教厚生常任委員会

【定例会報告】

９月11日に委員会および決算審査分科会を開催しました。

一般会計補正予算（第４号）の所管である、統合中学校建設付帯工事費は、みやま中学校グランド南側用地の造成工事及び工事車両の進入路整備等を行うものです。文化財発掘調査費は、商業施設建設予定地の発掘調査に係る現場作業員報酬や機械借上料や、山川市民センター空調設備改修設計業務委託料等を審議しました。

また、教育委員会から次の件について報告を受けました。

・みやま中学校校舎建築工事
・まいピア高田ホール天井の改修工事
・みやま中学校の給食提供
・部活動地域展開（資料）
・小学校緊急通報システムの

５件を審議しました。

決算審査分科会では、令和７年度一般会計のほか、国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業の特別会計決算について、所管の質疑と指摘事項の取りまとめを行いました。



産業建設常任委員会

【定例会報告】

９月14日に委員会及び決算審査分科会を開催しました。

委員会では、付託された議案３件等について審査しました。

議案「みやま市霊柩自動車使用条例を廃止する条例の制定について」は、霊柩自動車運行事業における使用件数の低迷に加え、車両の老朽化及び運転手確保が困難であるため、条例を廃止するものです。

また、議案「柳川みやま土木組合規約の変更について」は、柳川みやま土木組合の旧山門郡に係る負担割合の見直し等に伴い、柳川みやま土木組合規約を変更するものです。

その他「工事請負契約の締結について」などのいずれの議案も、慎重審査の結果、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。

また、決算審査分科会では、令和７年度一般会計、下水道事業の決算、上水道事業剰余金の処分及び決算の認定について、所管の質疑を行い審査しました。



総務常任委員会

【定例会報告】

9月15日に委員会および決算審査分科会を開催しました。

委員会では、付託された議案2件等について審査しました。

議案「みやま市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について」は、出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律の施行に伴い、在留カードまたは特別永住者証明書と個人番号カードが一体化された特定在留カード及び特定特別永住者証明書の導入に対応するため、所要の改正を行うものです。

議案「みやま市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、会計年度任用職員に対する夜間勤務手当の創設に伴い、条例に所要の改正を行うものです。

慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、決算審査分科会では、令和7年度一般会計、国民健康保険事業特別会計決算について、所管の審査を行いました。

【行政視察報告】

7月28日に視察研修を行いました。

●福岡県飯塚市

〈ふるさと納税について〉

飯塚市は、福岡県内のふるさと納税寄附額が5年連続1位で、その取り組みは非常に参考になりました。特にECサイト戦略は本市でも力を入れるべきだと感じました。



福岡県の海外旅費等支給の全容解明及びワンヘルス政策の検証を求める意見書

意見書全文

昨今、地方自治体の公費支出に対して、住民の関心が一層高まっています。福岡県及び福岡県議会の海外活動・視察研修等に関する報道や、講演会に係る謝礼金などワンヘルス政策に関する報道は、県民に大きな衝撃を与えました。これらの公金支出について、費用対効果や使途の不透明性を疑問視する声が高まる中、福岡県においては、海外視察に関する第三者委員会の設置や、ワンヘルス政策の検証に向けた対応が進められています。

みやま市では、平成19年9月の「みやま市自然環境保全都市宣言」以降、電力の地産地消やバイオマス事業など、資源循環型のまちづくりに取り組んできました。令和3年には、福岡県の「ワンヘルス推進基本条例」を受けて、本市議会でも「ワンヘルスの推進」を決議し、ワンヘルスセンター建設用地の無償譲渡を実現するなど、「ワンヘルスのまちみやま」として様々な取組を進めてきました。特に、命の大切さや自然との共生を学ぶワンヘルス教育に力を入れてきましたが、県政への信頼が揺らいだことで、子どもたちや保護者、地域住民、教職員の間にも不安が広がっています。

さらに、来年度にはワンヘルスセンターの工事完了が予定されており、本市議会としても執行部と連携し、さらなる取組を進めようとしている中で、市民から疑念の声が寄せられており困惑しています。

こうした現状を踏まえ、本市議会は福岡県に対し、海外活動・視察研修等に関する検証結果の速やかな公表と必要な見直し、あわせてワンヘルス政策の必要性や妥当性の検証、県民に対する丁寧な説明を求める意見書を提出しました。

—— 表紙のひと ——

7月26日、市役所本会議場で「こども議会」が開催され、市内の小・中学校から応募した18名のこども議員が、議場で本物の議会さながらに一般質問をしました。

こども議会は、小・中学生に議会の仕組みや役割を知ってもらい、議会や市のまちづくりに関心を持ってもらう良い機会になってほしいとの思いから、みやま市議会が企画しました。

7月5日には事前研修を行い、こども議員たちが市議会議員とともに議題について意見を出し合い、議場での発言内容を練り上げました。当日は、こうして考えた質問や意見をもとに、小・中学生議員と市長、教育長が活発な質疑を交わしました。

たとえば、「体育館や武道場にエアコンを設置してほしい。暑い環境で部活をするので、体調が心配」「学校のトイレを洋式に変えてほしい。和式は使いにくくてみんなが使わないので、混雑する」といった、学校生活に直結する子どもたちならではの質問が挙がりました。



こども議会を開催



こども議会は、議長を務めたこども議員を含め、18人全員が一般質問を行い、手の挙げ方や発言も堂々としており、素晴らしいこども議会となりました。参加者の中から、将来、議員を志す人が出てくるかもしれません。

また、こども議会後に実施したアンケートでは、「こども議会を通して、市議会や市政を身近に感じたか」という設問に対して、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した子どもが全体の94％にのぼり、「今後も取り組みを継続してほしいか」という設問には「ぜひ継続してほしい」「継続してほしい」という回答が100％を占めました。この結果からも、こども議会が大変意義深い取り組みであることが分かります。

この経験を通して、身近なことに興味を持ち、楽しく学んでほしいと願っています。

議会改革調査特別委員会

8月21日と9月9日、みやま市議会では、議員の倫理意識の向上と適正な議会活動の推進を図るため、政治倫理研修会を実施しました。

研修では、政治倫理の基本的な考え方や、議員として求められる行動規範について学び、理解を深めました。

今後も市民の信頼に応える議会を目指し、研さんに努めてまいります。



聞かせて! あなたの夢



みやま中学校　1年
松本（まつもと）　健（たける）さん

将来の夢

私の将来の夢は、図書館の司書になることです。理由は二つあります。一つ目は、本が好きだからです。二つ目は、本を必要としている人の役に立ちたいからです。図書館にはたくさんの本に出合える魅力があり、利用する人によって必要な本も違います。なので、私は一人ひとりの希望に合った本を紹介できる司書となり、図書館を安心して過ごせる場所にしたいです。そのために私が多くの本を読み、コミュニケーション力を高めていきたいです。

インターネットで中継・録画を配信
市ホームページ「みやま市議会」の「インターネット中継」からご覧ください。

《次回定例会》
12月8日(火)からの予定です。

編集委員
副委員長　森　弘子
委員　三小田智裕
委員　黒田　清隆



編集後記

晩秋の候、街路樹が色づき、朝夕の冷え込みが増す季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

市議会では、定例会ごとにさまざまな議案を審議し、市政の課題について議員が質問や提案を行っています。しかし、議会でどのような議論が交わされているのかは、なかなか市民の皆さまには伝わりにくいものかもしれません。だからこそ、「みやまんギカイ」を通じて、議会をより身近に感じていただき、「こんな議論が行われているんだ」と知っていただければと思います。

11月号では、市民生活に関わる課題や、みやま市の未来を考えるうえで重要な議論を、限られた紙面の中で分かりやすくお伝えすることを心がけました。

議会は議員だけのものではなく、市民の声が議論を生み、みやま市の未来につながっています。これからも「みやまんギカイ」が市民と議会をつなぐ架け橋となるよう、親しみやすく分かりやすい広報紙づくりに努めてまいります。

編集委員　黒田　清隆

みやま市ホームページアドレス https://www.city.miyama.lg.jp/